

一日の仕事を調べてみました

いざという時にすぐ駆けつけてくれる消防署の人たち。でも、出勤がない時ってどんなことをしているのでしょうか。3月26日に、平成19年新庁舎になった中央消防署に行ってきました。

大交代



午前8時25分、消防署の車庫前に整列。この日の当務の職員と前日の当務していた隊員が、業務を引き継ぎ、交代します。

車両の資機材を点検

車両に積載している資機材を、いつでも使えるよう毎日点検。破損や異常はないか、正常に作動するか、燃料は十分かなど、細部まで点検します。



▲ストレッチャーの点検



▲救助工作車のクレーン動作確認

日中は訓練・事務処理などを行います



市民の皆さんを守るための訓練。辛いと思っただけではありません。

消防隊、救急隊、救助隊が、それぞれ消火や救助などの訓練をします。素早く、確実に使えるように、器具の使い方の練習もします。



▲谷底などの低所にいる要救助者を救出する訓練



訓練がない時は、担当職務の事務処理をします。ほかにも、消火栓などの位置確認や、火災予防のために建物への立ち入り検査なども行います。



女性版編集委員も訓練を体験してみました



▲高所の人命救助で活躍するはしご付消防自動車。地上40メートルまでの建物に対応できます



▲地上40メートルから市役所方面を見た景色



▲火を使わない訓練専用の画面で消火体験ができます



▲トレーニングマネキンで心肺蘇生法を体験

●消防署では、消防庁舎見学、消防車両見学をはじめ煙中避難体験、消火訓練体験などを行うことができます。

希望する人は、中央消防署 458-0119 へお問い合わせください。

夕食時も出勤に備えています



夕食は午後5時から。家庭での夕食準備で火事が起こりやすい時間帯を避けています。食事は、災害時に自炊できるよう、若い人を中心に当番で作ります。出勤指令があった時にすぐに出られるよう、食堂は消防車庫のそばにあります。

夜は自己鍛錬と仮眠



夜は、各自で体力トレーニングや、消火・救急・救助の勉強などをします。

午後10時から午前6時までは仮眠。すぐに出動できるよう、服を着たまま寝ます。途中、受付や電話対応のために交代で1時間勤務します。

朝は、掃除や、次の班への申し送り事項をまとめます。大交代の後には、非番になります。



竹内記者

要救助者を助ける訓練を見学しました。あっという間にロープを渡って救出。危険な場所での救助活動は、訓練だけでなくチームワークもあってこそなせるわざですね。



山本記者

心肺蘇生法で2分間連続の心臓マッサージを体験。かなり体力を消耗します。見るのとやるのでは大きな違いですね。体験しておく、とても役に立つと思いました。



鳴原記者

消防署の皆さんが、日々の訓練に精進し、それぞれの部署で自分の仕事に誇りを持っている姿に感動。皆さんに守られているのだなと、とても心強く思いました。